

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



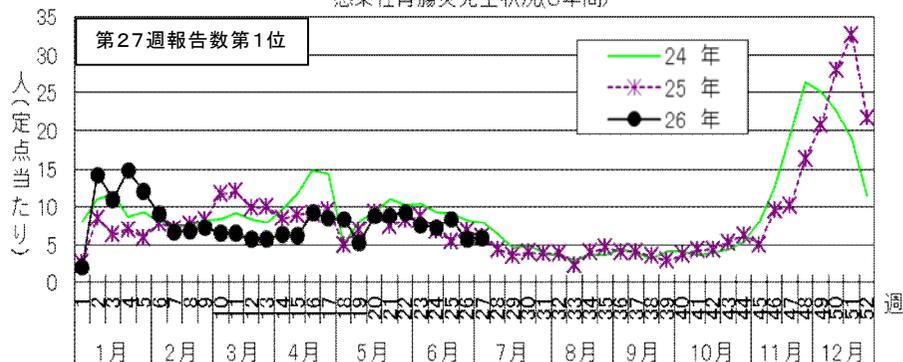
KAWASAKI CITY



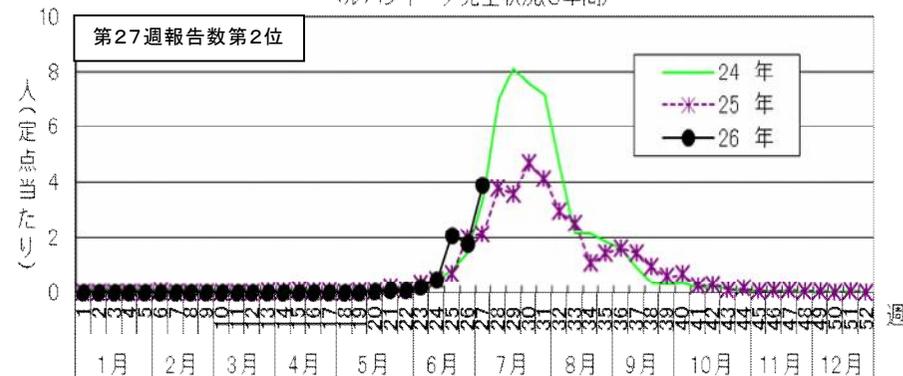
平成26年6月30日(月)～平成26年7月6日(日)〔平成26年第27週〕の感染症発生状況

第27週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)ヘルパンギーナ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 感染性胃腸炎は定点当たり5.94人と前週(5.73)より患者報告数は増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。  
 ヘルパンギーナは定点当たり3.91人と前週(1.79)より患者報告数は増加しましたが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.09人と前週(2.21)から患者報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



## 注意したい感染症～レジオネラ症～

近年、全国的にレジオネラ症による患者報告数が増加しており、川崎市でも今年には9件の発生がありました。特に、乳幼児や高齢者、病気にかかっている人など抵抗力の弱い人が発症しやすいため、注意が必要です。

### レジオネラ症ってどんな感染症？

- 原因** レジオネラ属菌による細菌感染症
- 潜伏期間** 2～10日間
- 感染経路** レジオネラ属菌は本来土壌などに生息する細菌ですが、循環式浴槽、加湿器、給湯設備、噴水などで増殖します。エアロゾル(霧状になった水滴)とともに空中に飛散した菌を吸い込むことで感染します。
- 症状** 倦怠感、筋肉痛、発熱、咳などで発症し、肺炎を併発することが多いです。傾眠、昏睡、幻覚などの中枢神経系の症状が見られることもあります。

全国及び川崎市におけるレジオネラ症届出数  
(各年の第1週～第26週診断分を集計)



レジオネラ症の報告数は、全国的に、例年主に7月にピークを迎えることから、注意が必要です。  
 レジオネラ症は早期治療が重要ですので、左記のような症状がある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

